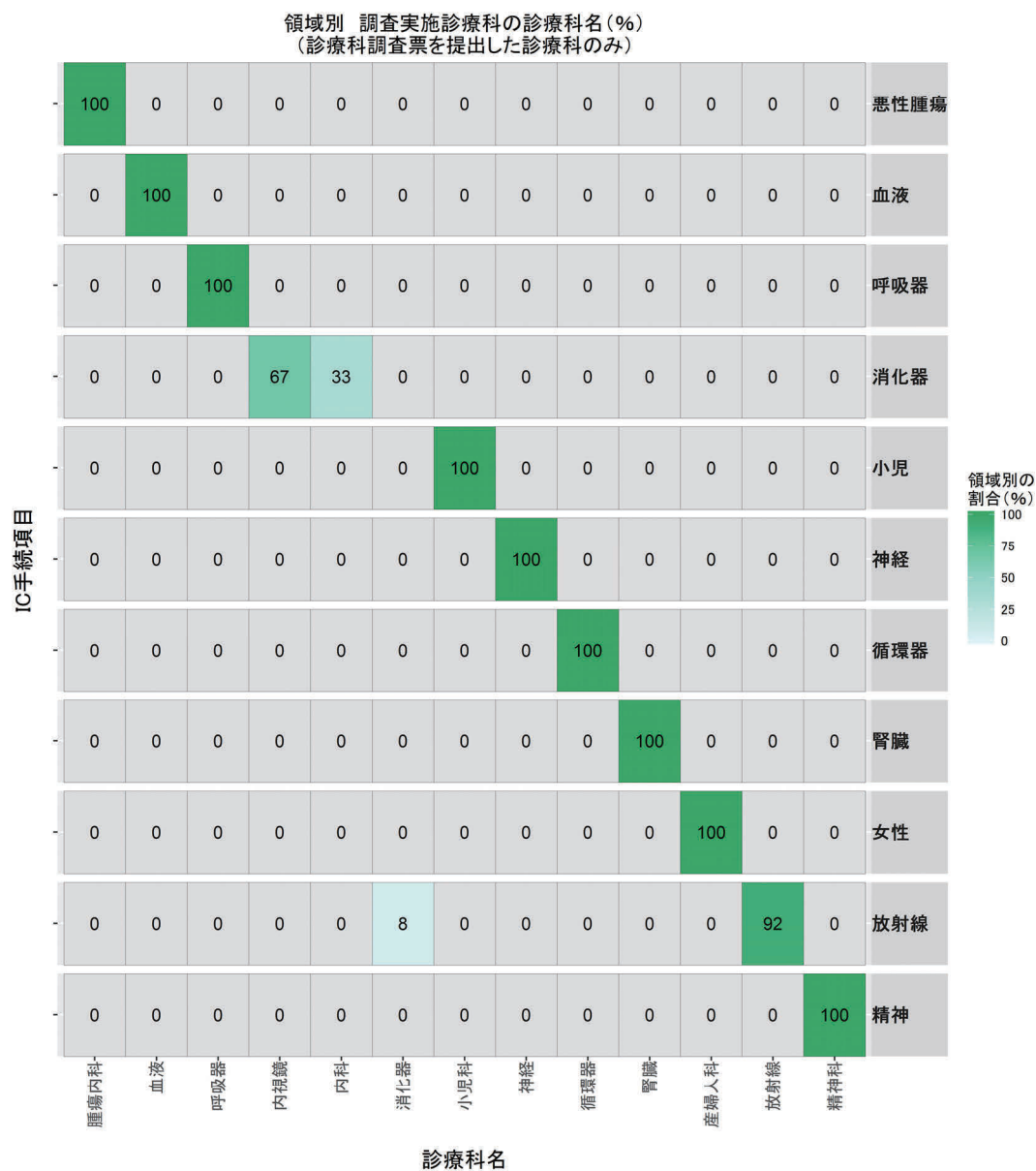


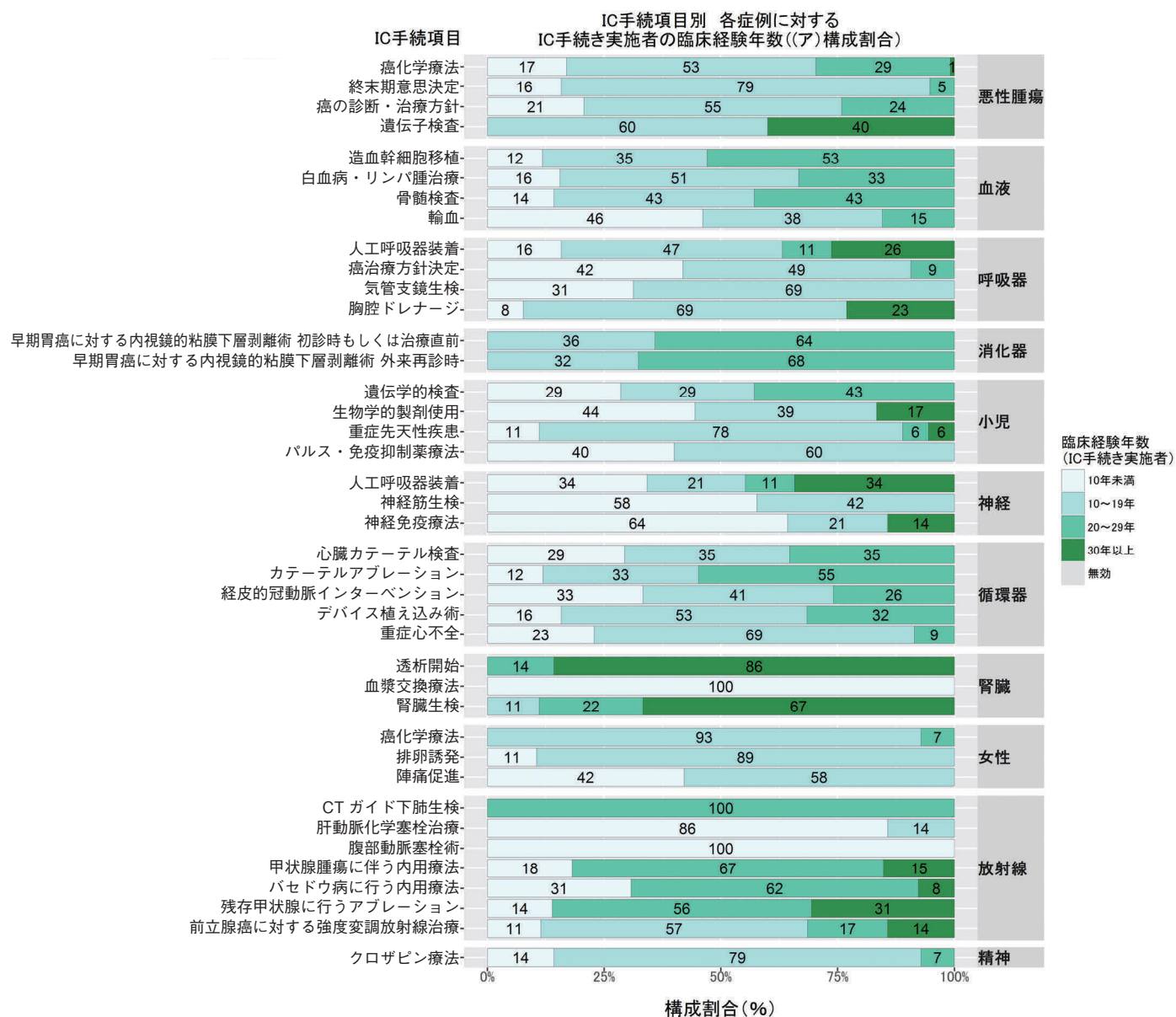
○診療科調査票

2-45. （問１）調査を実施した診療科の割合

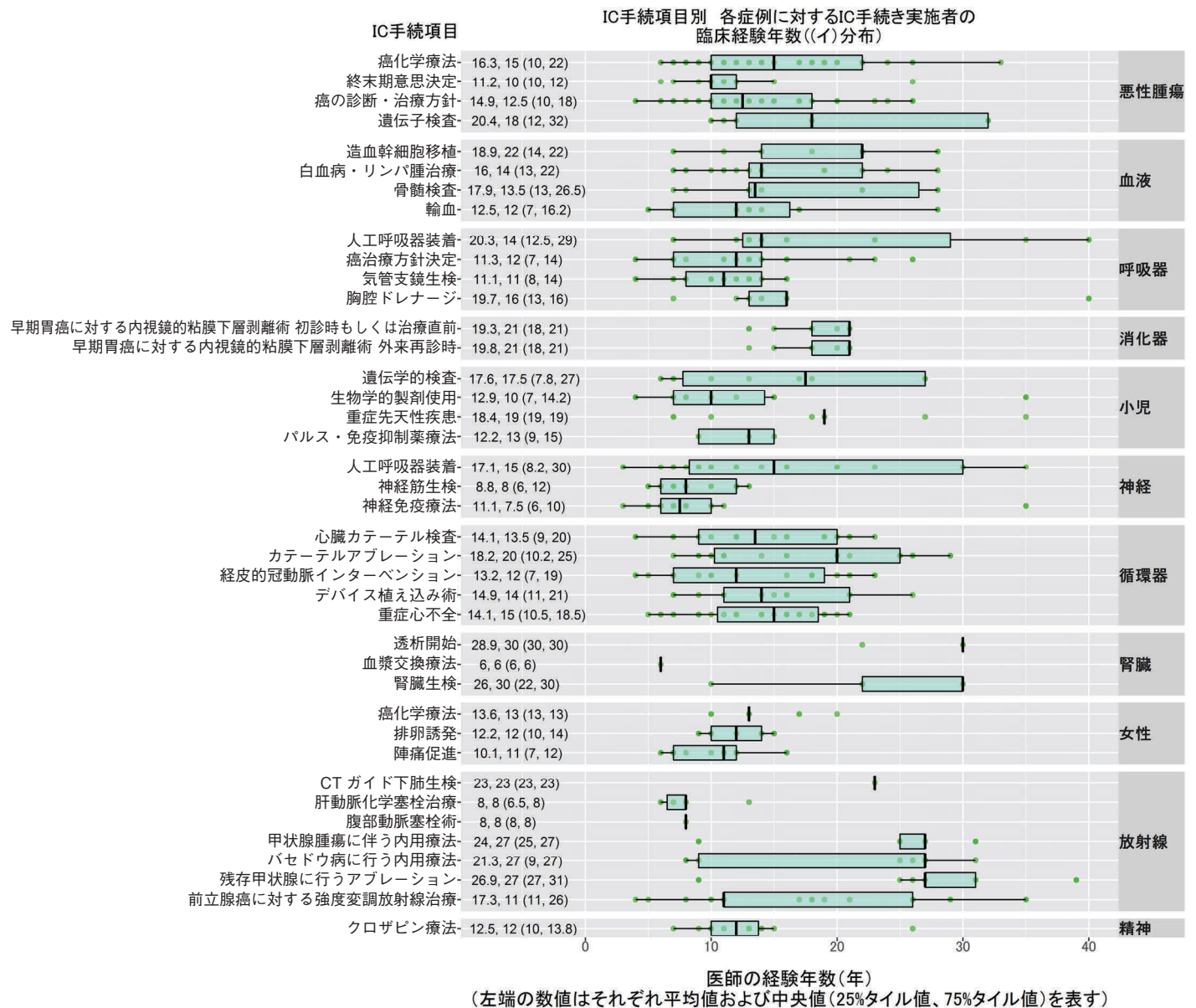


2-46. （問2）IC 手続き実施者の臨床経験年数

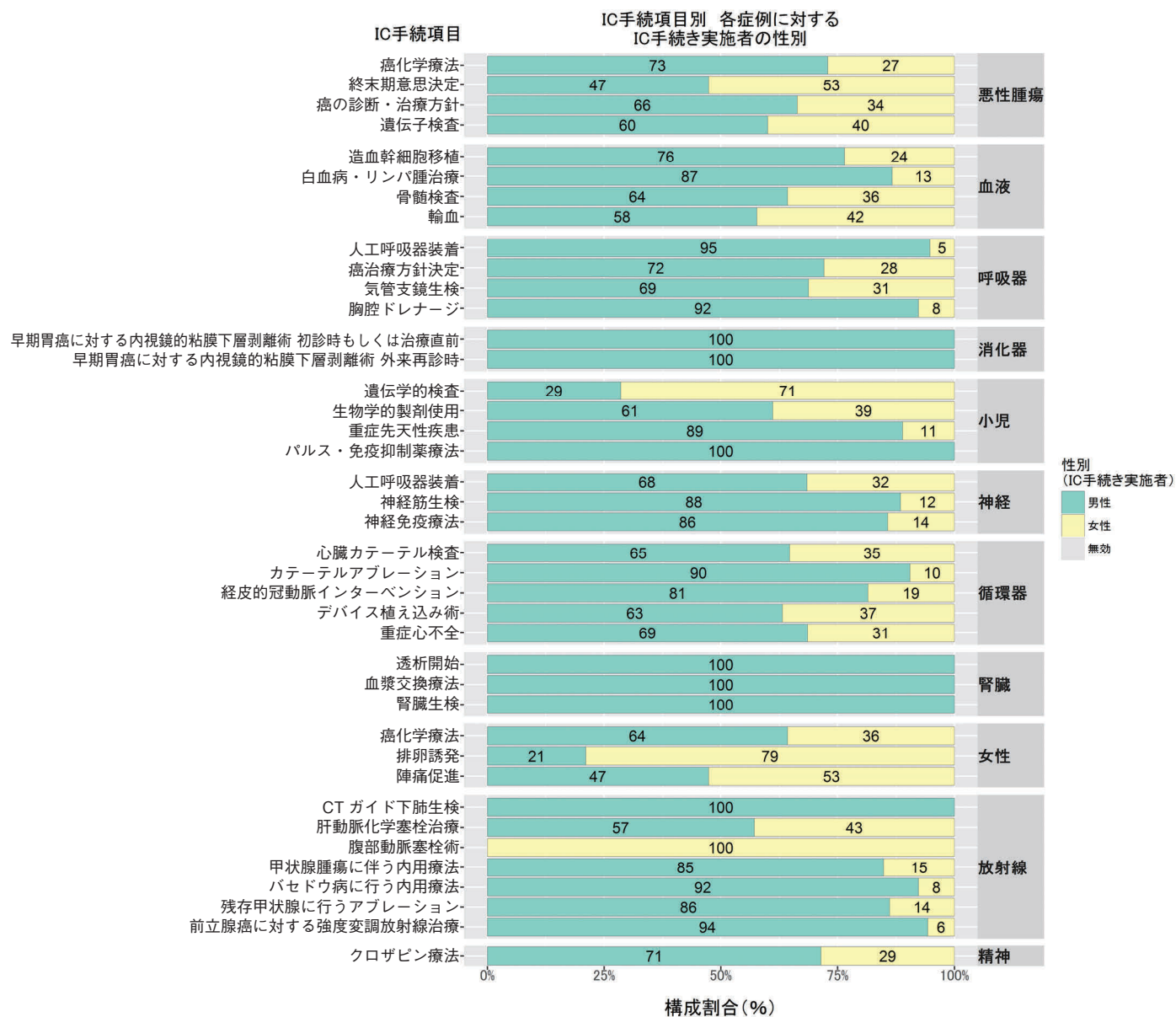
（ア）構成割合



(イ) 臨床経験年数の分布 (箱ひげ図)



2-47. （問2）IC手続き実施者の性別

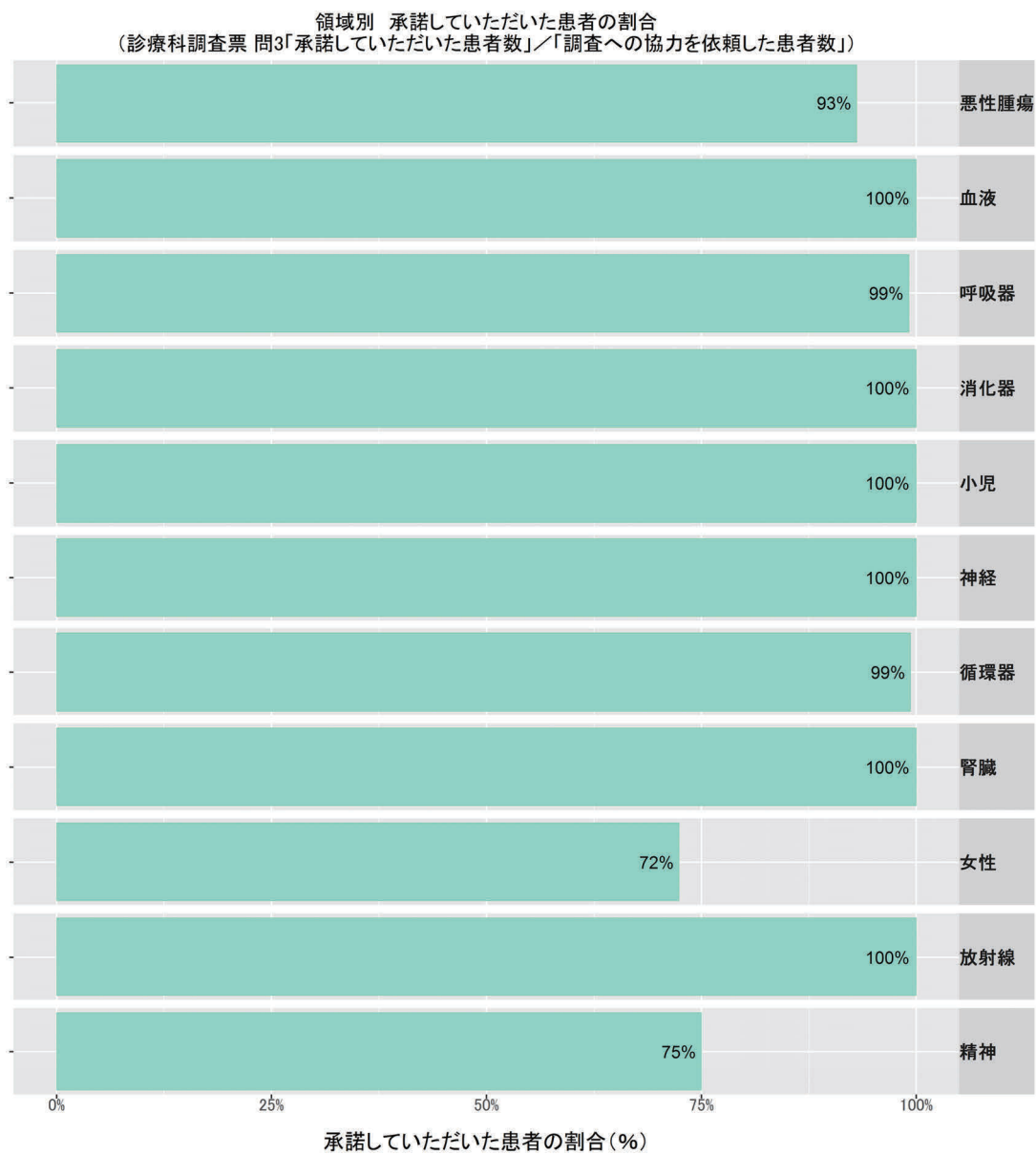


2-48. (問2) 症例数に占める各専門医の割合⁹

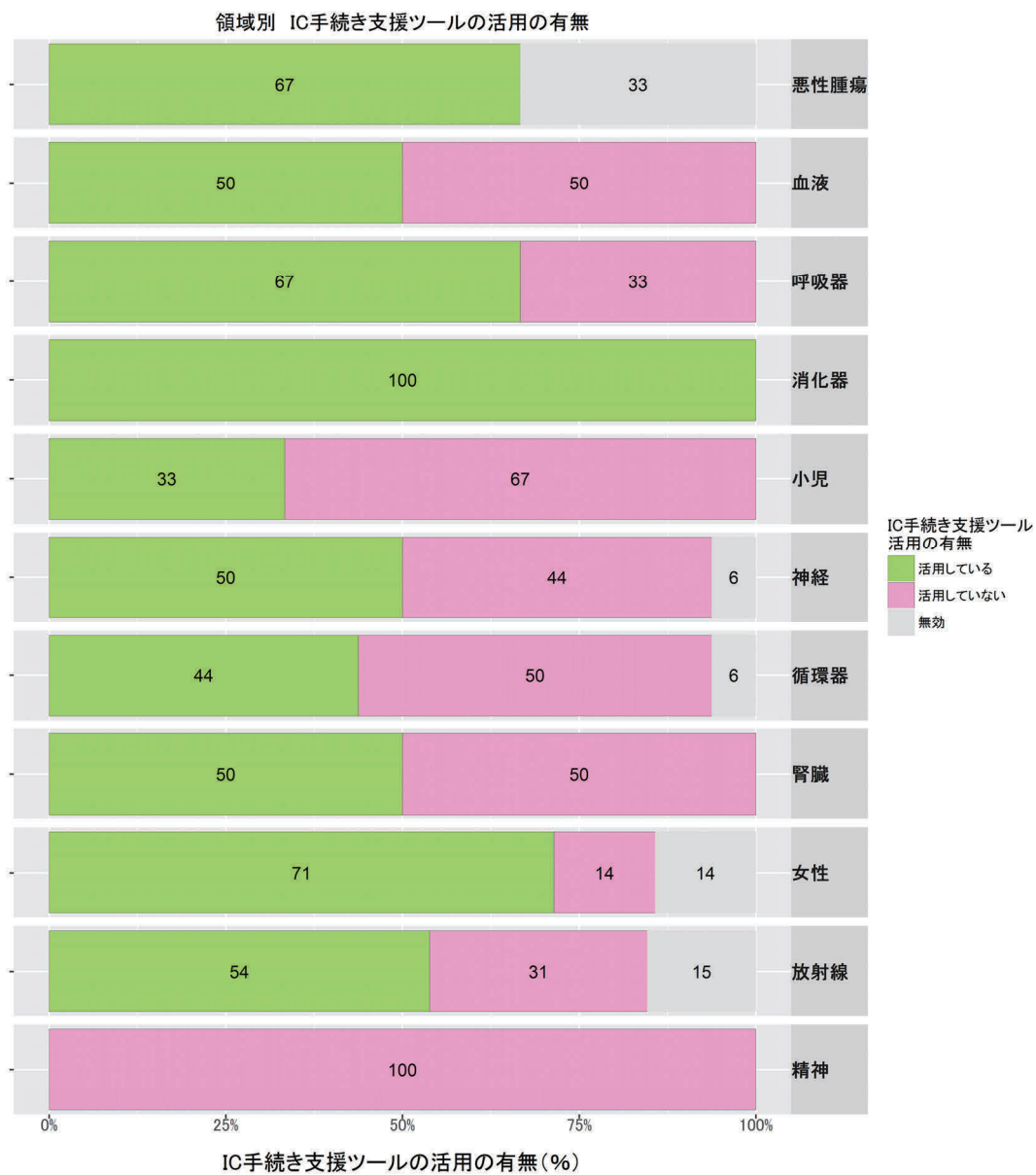
IC手続項目		IC手続項目別		症例数に占める各専門医の割合(%)			
癌化学療法	594	283	00030020000000042005000001550000	悪性腫瘍			
終末期意思決定	740	500002100000000000500021000021210000					
癌の診断・治療方針	687	9600013103000000000730008100001280000					
遺伝子検査	564	000000280000000000004000000000000000					
造血幹細胞移植	0	0100000000000000000000000000000000003500000	血液				
白血病・リンパ腫治療	0	0980000000000000000000000000000000003600000					
骨髄検査	0	0100000000000000000000000000000000007900000					
輸血	0	0380000000080000000000000000400000003100000					
人工呼吸器装着	0	004752100016016000000000005000000047000500	呼吸器				
癌治療方針決定	0	0005370000000000000000000020004900700					
気管支鏡生検	0	000818000000000000000000000000005800800					
胸腔ドレーナージ	0	0008531230000000000000000000000069003100					
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 初診時もしくは治療直前	0	0000000776200000000000000000000000000000000	消化器				
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 外来再診時	0	0000000745900000000000000000000000000000000					
遺伝学的検査	0	000000000934300000000700140000000000000000	小児				
生物学的製剤使用	0	00000000072000000111122000000000006000000					
重症先天性疾患	0	00000000010060000000011006700000000000000					
パルス・免疫抑制薬療法	0	000000000100000000404000020000000000000000					
人工呼吸器装着	0	0000000000000740000000000000000000016000320	神経				
神経筋生検	0	000000000000810000000000000000000000000000					
神経免疫療法	0	000000000000570000000000000000000000000000					
心臓カテーテル検査	0	00000000003006800000000000000000009000000	循環器				
カテーテルアブレーション	0	000000000000835500000000000000000048000000					
経皮的冠動脈インターベンション	0	000000000000630400000000000000000019040000					
デバイス植え込み術	0	000000000000892600000000000000000026000000					
重症心不全	0	00000000006007101100000030000030313110000					
透析開始	0	000000000000000001000000000000000100000000	腎臓				
腎臓生検	0	0000000000000000089890000000000089000000					
癌化学療法	0	930000000001400000000100710000000000000000	女性				
排卵誘発	0	0000000000000000000000000100003200000000000					
陣痛促進	0	00000000000000000000000840370000000000000					
CTガイド下肺生検	0	0000000000000000000000000000000100000000000	放射線				
肝動脈化学塞栓治療	0	000000029014000000000000000000430000000000					
腹部動脈塞栓術	0	000000000000000000000000000000100000000000					
甲状腺腫瘍に伴う内用療法	0	00000000000060000000000000009400000000000					
パセドウ病を行う内用療法	0	00000000000038000000000000006200000000000					
残存甲状腺を行うアブレーション	0	00000000000060000000000000007800000000000					
前立腺癌に対する強度変調放射線治療	0	00000000000000000000000000008300000000009					
クロザピン療法	0	00000000000000000000000000008600000000000	精神				
	がん診療 細血液 呼吸器 気管支 呼吸器 消化器 内視 肝臓 小児 神経 循環器 不整脈 腎臓 透析 内分泌 産婦人 周産 生殖 乳腺 放射線 核医学 超音波 精神科 総外科 集中 感染症 専門医・不明						
医師の資格(専門医)							

⁹ IC 手続項目別の構成割合の分母は、医師記入票と診療科調査票が紐付く症例としている。なお、本分析で対象とした医師の資格については、厚生労働省「医療に関する広告が可能となった医師等の専門性に関する資格名等について」（平成 25 年 5 月 31 日）に掲載されている資格を略称で示している。各専門医の正式名称と略称の対応表は本稿 2-【参考】を参照のこと。

2-49. （問3）承諾していただいた患者の割合



2-50. （問 4）IC 手続き支援ツール活用割合

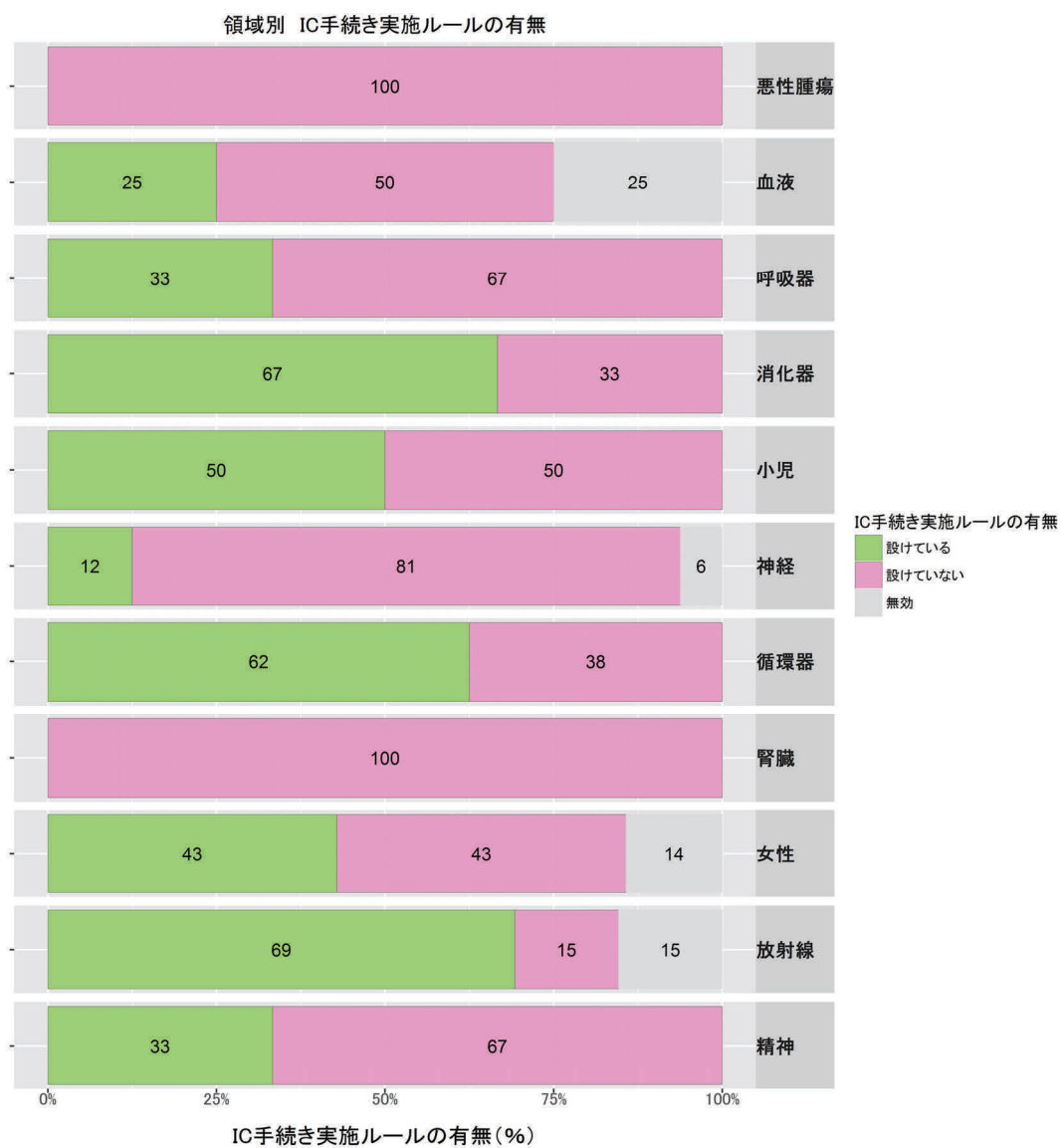


2-51. (問4) IC 手続き支援ツール活用の有無 (自由記入欄)

領域	(問4) IC 手続き支援ツールの具体的な活用内容
悪性腫瘍	支援ツールはない。各医師が独自のスタイルで IC にのぞんでいます。
悪性腫瘍	文書
悪性腫瘍	文書作成支援
血液	文書作成支援
呼吸器	IC のテンプレート内にある P.P を随時使用している。
呼吸器	検査結果ビューワー、文書作成支援
消化器	検査結果のビューワー
消化器	電子カルテ (ビューワー、文書作成支援、プレゼンテーションソフト)
消化器	電子カルテの IC 支援ツール
小児	X-P, 検査結果の一覧を利用
小児	検査結果のビューワー 文書作成
小児	文書作成支援を使用している。
神経	いずれも用いております。
神経	検査結果、画像検査結果の表示、文書作成
神経	検査結果を示すとき、急変時の指示など
神経	文書フォーマット使用
神経	文書作成支援
神経	文書作成支援 画像のビューワー
神経	文書作成支援、プレゼンテーション支援
循環器	IC 用フォーマットの利用
循環器	あらかじめ作られた文書ファイル
循環器	検査結果のビューワー、文書は PDF ファイルとして登録済
循環器	検査結果ビューワー、文書作成支援
循環器	電子カルテの中に「患者説明記録」の項目があり、IC の内容や日時などが記録できるようになっています。
循環器	文書作成
腎臓	腎生検、PTA などは電子カルテに文書を入れてあります。
女性	IC フォームを使用

女性	検査結果、文書作成
女性	検査結果ビューワー、患者説明用紙作製ツール
女性	同意書作成機能、検査結果ビューワー（画像含む）
女性	文書テンプレートあり
放射線	DocuMaker（文書作成支援） XTREK VIEW（画像ビューワー）
放射線	IC 文書作成
放射線	ビューワー、電子カルテ端末にスライドを準備している
放射線	検査（栓血結果）や画像検査のビューワー、あくまで電カル上のモニター閲覧である。
放射線	写真、データの提示。共通文書の使用等。
放射線	上記全部利用している

2-52. （問5）IC手続き実施ルールの有無についての構成割合



2-53. (問5) IC 手続き実施ルールの有無について (自由記入欄)

領域	(問5) IC 手続き実施ルールの具体的な内容
血液	共通したフォーマットでの施行としている
血液	項目として、骨髄穿刺、化学療法等に分けての文書作成支援ツールを用いている。
呼吸器	基本個室で。
消化器	指定の説明・同意書を使用している
消化器	術前手術インフォームド・コンセント手順
小児	①医師以外の職種の同席（ふつうは看護師）②適宜、手書き文章等での追加資料
小児	IC 内容をカルテ上の患者説明というテンプレートに書いている。
小児	遺伝子検査は倫理委員会承認の説明同意書を用いる。特殊製剤使用については倫理委員会又は薬剤委員会指定の説明同意書を取得する。
神経	プライベート空間にて行う
神経	所定の書式が設定されている（同意書 代筆者などのサインなど）
循環器	IC 用の用紙があり、その事項に沿って説明していく。
循環器	ガイドラインが定められている
循環器	院内の共通冊子を使用
循環器	院内文書の電子カルテ登録には委員会の承認が必要
循環器	看護師の同席を推奨している
循環器	共通の説明資料を使用。移植等の重症心不全に関する IC は内科と外科合同で行う。
循環器	診療マニュアルの中に「インフォームド・コンセントマニュアル」があり、手順や項目についての記載があります。
循環器	説明承諾書の作成に際して、医療安全管理部、弁護士のレビューをうけている。
循環器	電子カルテから印刷した説明文書を用いて説明を行っている。
循環器	同意書と説明文書それぞれを用いて、患者と病院で一部ずつ持つ形をとっています。
女性	リーガルアドバイザーの機関を経て全科の同意書がナンバリングの上管理されている
女性	陣痛促進時には帝王切開についての IC も施行していますが、本報告は分娩誘発、促進のみの説明時間といたしました。

女性	同意書の統一、カルテ記載方法、内容等のルール
放射線	「説明・同意書」内に含まれるべき説明事項として、いくつかの必須項目が示され、院内ルールとして周知されている。
放射線	検査、治療ごとに I C 用紙があり、文書で I C を取得する
放射線	原則として初回面談時に承諾のサインは取得せず説明文書をおわたしし、後日サインを頂いている。
放射線	術者として I V R に参加する医師が行う
放射線	所定の文書を用いる
放射線	説明ズミシールをカルテにはる。病棟では看護師同席し書記をしてもらう
放射線	同ースライド、同意書に則って説明すること
放射線	放射線治療に関する共通同意書、前立腺癌に対する共通説明文書をプリントして用いる。
精神	CPMS HP の IC 様説明文書を使用する

2-54. （問6）今後内保連で取り組んでほしいこと（自由記入欄）

領域 （問6）今後内保連で取り組んでほしいこと

悪性腫瘍	他職種のための専門外来のとりくみの実態調査（ex,看護師外来、薬剤師外来、がん相談員の外来など）と、労働負荷の把握をお願いしたいです。
血液	IC用紙 書類の作成など
血液	化学療法等や治療内容、診断難易度別の診療報酬を設定してほしいと思います。
呼吸器	日々の病状説明は、重症度や患者、家族のリクエストの頻度によりだいぶ回数や必要時間が異なりますので、基本的にICをしたら内容にかかわらず、診療報酬が付き、さらに今回のような特殊項目について加点されるようなしくみづくりを希望します。
小児	診療報酬など（保険収載）
小児	診療報酬上のインセンティブに反映されることを期待します。
神経	ALSなどの難病患者への人工呼吸器装着などの説明は大変時間がかかる上に、精神的負担も大きく、診療報酬上に反映できるようにしてほしい
神経	ICの標準化および診療報酬上の問題は大変重要と認識しています。今後ともご協力できることがあればお知らせください
神経	実際の場面では何度も何度もくり返して説明をして治療選択に至ることが多いわけです。回答は症例によってまちまちですし要する期間も数カ月におよぶこともあります。今回のような短い機会でのICでは負担を測るのはむずかしいと思います（診療/IC行動）に対してではなく「疾患とIC対象事象の性質」によって回数は1回限り算定などの方向がのぞましい印象です
循環器	ICでの診療報酬が取得できるようになるとよいと思います。
循環器	とくにございません
循環器	各学会で、特に合併症の記載に関する共通フォーマットを作成すべき。
腎臓	是非点数化して欲しい
女性	医療ミス軽減など厳格な体制づくりは必須と思われますが、書類作成の膨大化が臨床業務を圧迫しているのはまぎれもない事実であり、説明書の手渡しと回答説明を同じウエイトにする取り組みをして欲しい。時間節約のための説明書作成が功を奏していない。
放射線	コメディカル（看護師や技師）による説明に診療報酬を手当てするこ

とで、医師が行う説明内容を分担できる方向へ向ける施策をおねがいします。

放射線 各種手術・治療の高度化にともない、説明の負荷が大きくなっている。よって説明時間、内容に応じて点数を加算できるシステムを要望する。

放射線 算定方法が複雑になるとそれがまたストレスや業務の支障とならないよう、シンプルで明快に設定して頂きたいです。（保険収載の際）。研究の目的に関しては大賛成です。

放射線 従来は科内で作成したテンプレートを元に I C F を作成し I C を行なっていました。最近、病院から I C 必須事項のテンプレートが作成され、その項目を参照して I C のための説明書を個別に **Modify** して作成しています。標準化された I C を適切に行なった際の加算を望みます。

放射線 当院では各科それぞれの書式の IC を用いています。全国で統一した書式のひな形（外せない項目など）があれば教えて頂けると助かります

精神 精神科領域では、ご本人の精神症状のために、IC に、非常に時間がかかります。今回は、クロザリル治療でしたが、精神科患者の手術、検査につき、引きつづきとりくんでほしいです。